

岡山県介護事業所運営向上ネットワーク

外部評価結果表

1、施設名 特別養護老人ホーム 健老園 (法人名 社会福祉法人 健老会)

2、施設の住所 岡山県岡山市南区古新田1351-3

3、施設の状況 (平成26年11月30日現在)

(1) 施設の定員 入所 50人 ショートステイ 4人

(2) 介護・看護職員数(常勤換算) 38.4人 :うち正規職員 32人

(3) 介護・看護職員対入所者比率(介護・看護職員1人あたりの入所者数) 1.4人

(4) 介護職員数 38人 :うち介護福祉士資格保持者 19人

看護職員数 5人

(5) 職員の現職場での勤続年数(正規職員のみ)

・0年以上1年未満 (13 人) ・1年以上2年未満 (1 人)

・2年以上4年未満 (10 人) ・4年以上8年未満 (9 人)

・8年以上10年未満 (4 人) ・10年以上 (6 人)

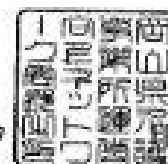
(6) 介護・看護職員の平均勤続年数(正規職員のみ)

①介護職員 4.1年 ②看護職員 2.8年

(7) 開設年月日 平成 16年 6月 1日

4、評価機関について

評価機関を実施した評価機関名 岡山県介護事業所運営向上ネットワーク



評価機関の住所 (代表) 岡山県瀬戸内市邑久町福中1180

評価調査施設名 せとうち、悠々庵

評価調査者氏名 安東 しのぶ



印

丸山 順



印

5、評価実施期間

評価を行った期間 平成25年12月1日 ~ 平成26年11月30日

評価項目	評価に用いた小項目	評点
①人権尊重・利用者利益の保護が徹底されていますか	a. 利用者の権利擁護に積極的に取り組んでいますか b. 個人情報・プライバシーを保護していますか c. 抑制や拘束は行わないようにしていますか d. 苦情への対応体制を整えていますか e. 利用者や家族の意見を聞くための取り組みを行っていますか	自己評価 3
評点の理由及びコメント (自己評価での強み) ○入居時に成年後見制度及び地域福祉権利擁護事業の説明を行っている。 ○個人情報保護方針を元に対応している。 ○毎月委員会を開催しながら、身体拘束0を継続している。 ○苦情受付体制を整備している。 ○意見箱の設置。 ○2か月に1回家族会を開催し、情報交換、意見交換等を行っている。会を重ねるにつれ徐々に意見が出るようになっていく。 ○地域の民生委員2名の方に三者委員をサービス内容等の相談窓口をお願いしている。 (評価者のコメント、課題) a入所契約時に説明及び同意をしており、実際に成年後見制度・地域福祉権利擁護事業を利用されている。 b入所契約時に説明及び同意をしており、保護方針も掲示されていた。 c委員会を開催されており、議事録の確認もできた。事例で夜勤の職員を増やして、迅速に対応していることを確認した。 d整備されていることがマニュアルにて確認できた。 e意見箱について、以前ご家族より事務所受付に設置されていたら目立って書けないと要望があり、玄関右奥に設置場所を変更したそうであるが、それでも、意見箱の中には、意見書は入っていることはなく、去年は1件であった。意見箱の設置のアナウンスや設置場所の再度の検討が必要であるように思われる。家族会も開催されており、その時の挙がった要望などについては、早急に対応ができていた。また、参加できなかったご家族には、議事録を送付している。しかし、家族会への参加家族が少ないように思われる。8月の参加者は10名で5、6名の利用者の家族であった。意見交換が出来るの良い機会であるので、参加率をあげる取り組みをしていただければと思います。		外部評価 3

②地域福祉の向上に貢献していますか	a. 地域の関係機関・団体等と必要な連携を行っていますか b. ボランティアの受入れに配慮していますか c. 施設の機能を地域へ還元するような取り組みを行っていますか d. 情報公開を行っていますか	自己評価 3
評点の理由及びコメント （自己評価での強み） ○定期的に地域ケア会議に出席している。 ○定期的に地域の民舞等のボランティアに来てもらっている。 ○夏祭りで地域の学童保育や婦人会にステージで披露してもらっている。 ○岡山市と福祉避難所として契約している。 ○今後岡山市の介護予防事業で貢献する予定がある。 ○多目的ホールを元家族や地域の方に使ってもらっている。 ○ホームページを開設している。全国経営協に財務諸表等を公開している。 （評価者のコメント、課題） a地域ケア会議に年3回参加している。中学校区で町内、行政、介護事業所関係者が参加している。 b毎月1団体は来園してもらっている。夏祭りにおいても家族を含め、地域の方々が約100名ほど参加している。 c月1回のヨガ教室やエアロビ(元利用者ご家族)に開放している。また、岡山市指定の避難所にもなっており、20名の受け入れが可能な体制となっている。賞味期限まじかの非常食の使い道の検討をお願いします。介護予防事業への貢献はこれからの課題であるので、今後の取り組みに期待します。 dホームページを確認してもらい、広報委員により行事やブログの更新は定期的に更新されており、園内の様子が分かって良いと思います。しかし、財務諸表等は全国経営協で公開しているとの事ですが、折角のホームページですので、自施設のホームページで全てのことがわかるほうが、閲覧する機会も増えるを思われまでの検討をお願いします。		外部評価 3

③組織の運営は適切ですか	a. サービス提供の理念を職員が共有していますか b. 施設長は現場のサービスを理解し必要なリーダーシップを發揮していますか c. 職員間でコミュニケーションや自主的な取り組みが促進されるような組織になっていますか d. 職員の満足度を高められるよう配慮していますか	自己評価 3
評点の理由及びコメント （自己評価での強み） ○健老園理念は夕方申し送りや研修等で唱和や伝えたりしており全職員が把握している。 ○できるだけ職員の意見は否定せず聞き、自主的な行動・提案は実施できるようしている。 ○運営方針の1つに職員満足度を掲げ職員教育に力を入れたり、風通しの良い職場を心掛けている。 （評価者のコメント、課題） a毎日夕方の申し送りにて夜勤者リーダーを主として唱和を行っている。出勤職員に確認はできていない。新規職員には、オリエンテーションにて説明を行っている。 b職員との面談を年2回(賞与の前)に行っている。また、職員の意見・要望などを記入した自己申告書の提出があり、施設長のみが確認している。 c人事考課を行い、意見交換が出来るようになっている。 d年度の初めにキャリアアップシートを各自作成し、面談時などに活用している。		外部評価 4

④サービスの質の向上の為にの仕組みがありますか	a. 適切なサービスが提供できるような職員の配置になっていますか b. サービスの質の向上に向けた計画的な取り組みを行っていますか c. 職員に研修やOJTなど資質向上の機会を確保していますか	自己評価 4
評点の理由及びコメント (自己評価での強み) ○年間計画を策定し勉強会を開催している。また、リーダー職員対象に毎月2回のペースで勉強会を開催している。その他、毎月2回ユニットケア・介護技術についての勉強会を開催し、知識や理解を深め技術向上に努めている ○業務基準手順という業務マニュアルを作成している。また、職員個々に目標シートを記入し、個々の目標を明確にしている。入職時にチューター制度を整備し、6ヶ月間にわたりチェックシートを用いて業務を細かく指導し評価している。 (評価者のコメント、課題) a育児休暇等取得し易い人員配置となっており、取得後も復帰しやすい環境になっている。 b研修記録などを確認し、年間計画に沿って研修の機会が確保されていました。研修内容も多岐にわたっており、それぞれの立場での研修が行われているのを確認した。また、研修に参加できなかった職員に対しては、資料を配布し、リーダーが確認を行っているとの事だった。もう少し踏み込めば、行われた研修が現場などでどのように生かされているのかを検証できればもっとすばらしいものになるのではないのでしょうか。忙しい中大変かと思いますが期待します。 cチューター制度は、同じユニットの職員がマンツーマンで、1月ごとに目標を設定して、6ヶ月にわたって実施されている。チューターとしての成長も図っているとの事である。		外部評価 4

⑤安心・安全面の管理に関する取り組みを行っていますか	a. 事故発生時の対応や事故防止策に関する検討を行っていますか b. 防災・防犯への対策を行っていますか c. 衛生管理・感染症対策を適切に行っていますか d. 建物設備や備品のメンテナンスを定期的に行っていますか	自己評価 4
評点の理由及びコメント (自己評価での強み) ○毎月事故防止委員会にてアクシデント等の報告を集計・分析している。対策後の評価も実施している。緊急時対応についてもほぼ毎月1回、緊急デモンストレーションとして、ロールプレイにて訓練している。 ○計画的に地震想定も含め、防災訓練を行っている。宿直が玄関施錠を定時に行い定期的に施錠確認も含めて巡回も行っている。駐車場も夜間はチェーンで施錠している。 ○緊急時対応の備品等も所定の場所に設置し、即対応ができる体制を整えている。 ○防災委員会を毎月開催し、防災備品の検討や避難方法等評価している。計画的な消防訓練を実施している。 ○床材の補修が必要になっている。改修工事の検討を行っている。 ○定期点検は業者にて行っている。自主的なものは園内回るときに意識して見るようにしている。また、職員が不具合や異常に気付いたらすぐ報告するようにしている。 ○毎月感染症委員会を開催し、スタンダードプリコーションを実施している。感染症まん延防止の為に研修を計画的に実施している。感染症が疑われる際の対応等マニュアルを作成し、物品も所定の場所に備えている。 (評価者のコメント、課題) a緊急デモンストレーションとしての、ロールプレイにての訓練については、大変すばらしい取り組みであると評価できます。色々な場面を想定し、体験していると、実際の場面での対応が変わってくると思います。これからも継続して頂きたいと思います。 b避難訓練の実施状況の確認ができ、日中・夜間ともに実施されていました。食料の備蓄も三日分されていることであった。今後、賞味期限が近くなった備蓄食をどのように使用するかを検討をお願いします。 c感染防止セットを各階の介護ステーションにワンセット常備されていたが、早急な対応が蔓延防止に繋がりますので、各ユニットごとに常備することを検討願います。		外部評価 4

⑥ケアプランを策定し、実施していますか	a. 利用申込み時や利用時の対応体制が整っていますか b. ケアプランの策定・見直しに関する責任の所在と役割分担が明確ですか c. 利用者一人ひとりにアセスメントに基づいたケアプランを策定していますか d. 利用者一人ひとりについて、ケアプランに基づいたサービスを提供していますか	自己評価 4
---------------------	---	----------------------

<p>評点の理由及びコメント</p> <p>(自己評価での強み) ○生活相談員だけではなく、相談部を組織し、365日いつでも見学や相談に対応できる体制が出来ている。 ○介護支援専門員を中心に各専門職種と情報共有でき連携や責任も明確で補完的関係である。 ○ニーズに基づいたケアプランを策定し、ケアプランに基づいたサービスを提供している。</p> <p>(評価者のコメント・課題) a相談部で対応され、相談や入居前の訪問と24時間シートを使った入居前アセスメントが丁寧になされていることが確認できました。入居前カンファレンスで情報の伝達もされています。 認知症の利用者のアセスメントについては、24時間シートの現在の書式のみでは対応しきれないのではと思います。今後の24時間シートのさらなる充実を期待します。 b～d 介護支援専門員を中心に各職種の連携がとれ、アセスメントからケアプランの策定も明確な体制ができています。24時間シートに変えられて、現場のケアプランに基づいたサービスの意識の浸透度はどうでしょうか。ケアプランとケアサービスがさらに一体的に展開されるよう期待します。</p>	外部評価 4
---	----------------------

⑦ケアプランの見直し等を行っていますか	a. サービス提供を評価し、状態の変化に応じて随時、見直しを行っていますか b. ケアプランの見直しに際し、利用者や家族の意見を反映していますか	自己評価 4
---------------------	---	----------------------

<p>評点の理由及びコメント</p> <p>(自己評価での強み) ○入居者の心身状況に応じて随時の変更見直しを行っている。各専門職から課題や状況、今後の展望等の情報をメモとして介護支援専門員にカンファレンスの前に情報提供している。 ○カンファレンス前に家族の意向や意見を確認している。家族の担当者会議参加も日程を送付連絡している。</p> <p>(評価者のコメント・課題) a～b 状態の変化に対応するケアプランの随時の見直しがなされているようです。職種間の連携も成されていて、変化にタイムリーに対応することが出来ているようですが、状態が安定されている入居者の方々に関してはどうでしょうか。モニタリングからケアプランの見直しに関しては、ケアスタッフのプランに対する意識が、特に大切になるとと思います。意識の浸透で充実したプランと実践をされる事を期待します。 家族のカンファレンスへの参加率も増加してきている。特に看取り期の参加は多いと聞き取った。やはり日頃からもっと家族・ご本人の参加をして頂けるように、働きかけを続けていただきたい。家族・利用者の思い、施設の思いも互いに書面上のみでは本意が伝わらないことが多く、家族との関係性もより深まると思います。</p>	外部評価 4
---	----------------------

㊸利用者本位の視点でサービスを提供していますか	a. 一人ひとりの生活習慣や嗜好を十分に把握したうえで、それを尊重し、実施できるようにしていますか b. 利用者の生活リズムに合わせた支援をしていますか c. 自己決定を支援していますか d. 利用者のできることに配慮した自立支援をしていますか	自己評価 3
評点の理由及びコメント (自己評価での強み) ○入居前の情報収集の段階で24Hシートを作成しているため、日課に関しては暮らしの継続はできている ○飲酒について、健老園では生活の一部と捉えているため、晩酌されている入居者もあり、お酒の提供を行っている ○24Hシートの作成・活用に取り組んでいる(施設内外研修など) (評価者のコメント・課題) a~d 利用者の生活リズムの把握、暮らしの継続、利用者の自己決定、できることに配慮した自律の支援を24時間シートの作成によって、個人をより深く知る、個別ケアの質の向上に向けた努力が伺えます。今後、作成された24時間シートの見直し・さらなる充実とそれをどんどん生かしてケアに反映させる実践を期待します。		外部評価 3

㊹コミュニケーションの方法や手前は適切ですか	a. 利用者への言葉遣いや態度は適切ですか b. 利用者とのコミュニケーションの時間を持っていますか c. 利用者の随時の訴えに適切に対応していますか	自己評価 3
評点の理由及びコメント (自己評価での強み) ○適切でない場合は、リーダーを中心に個別に指導、接遇委員会で全体の指導を行う ○日々の援助を通してコミュニケーションを図り、24Hシートにも反映させている ○入居者からの直接の訴えに加え、様子からも気持ちをくみ取り対応している ○リスクに合わせて優先順位を決め対応している(あらかじめ想定し相談・検討している、迅速に対応するため) (評価者のコメント・課題) a 言葉遣いや態度が適切でない場合は、担当職員で個別に指導をされている。徐々に改善している人もあるとのことだが、地道に努力を続けていただきたい。利用者にとって、毎日の生活の質にかかわることと思うので。 b 援助を通してのコミュニケーションも大切であるし、時には利用者・職員互いにゆったりとした気分でのコミュニケーションをとれる時間が、作り出されると良いと思います。 c 随時の訴えへの対応を含めて、利用者の本当の気持ちの汲み取りを考えていただけたらとおもいます。		外部評価 3

⑩利用者にとって快適な生活環境作りをしていますか	a. 光・音・温度などが個人に合わせて調節できるようになっていますか b. これまでの家庭での生活が継続できる環境作りをしていますか c. 利用者のプライベートな空間が整備され、尊重されていますか d. 利用者が交流しやすい共有空間を確保していますか e. 家族が訪問しやすいよう支援していますか	自己評価 4
--------------------------	--	---------------

評点の理由及びコメント （自己評価での強み） ○5Sチェック表を作成し環境整備後のチェックを行っている。毎日管理職がチェックしている ○居室の家具は施設の備え付けの物ではなく、今まで使われていた馴染みの物を設置させていただきたいと家族にお願いしている（基本的に備え付けの家具は備えていない） ○居室に家具の設置の為に穴を開けてもよいとしている （評価者のコメント・課題） a環境の整備に関してチェック体制ができ、個別に対応できるようにされています。 b～c これまでの生活の継続、プライベート空間の整備は入居時のアセスメントを綿密にされることにより、多くの情報を得て整備、対応をされ利用者の個性が発揮できるよう努力を期待します。 d～e 利用者の交流しやすい共有空間は、今少しユニットの個性や特徴がそれぞれ感じられるよう考えてみてはどうかと思います。その先に、交流しやすさや居心地の良い空間が生まれるのではと思います。利用者・家族共に。	外部評価 3
--	---------------

⑪食事（嗜好・おやつ）の支援や口腔ケアは適切ですか	a. 利用者が食事を楽しめるような取り組みを行っていますか b. 利用者の食事が進む工夫を行っていますか c. 利用者が嗜好品・おやつを楽しめる配慮をしていますか d. 口腔ケアを適切に行っていますか e. 栄養ケアマネジメントに関するカンファレンスの実施はどの様に行われていますか f. 嗜好調査が献立にどの様に反映されていますか g. 非日常的な行事食などは実施されていますか	自己評価 3
---------------------------	--	---------------

評点の理由及びコメント （自己評価での強み） ○バイキングの実施（毎月） 入居者の目の前で握りたての寿司や揚げたての天ぷらなどを準備、好きな物を食べていただいている ○喫茶会（月1回） 普段と違う雰囲気でおやつ・飲み物を選ぶ、家族の参加もあり楽しんで食べられている ○抹茶会（年1回） 職人が目の前で和菓子製作 ○各フロアで常飯・軟飯を炊飯、各ユニットで汁を盛り付け、ご飯や汁を盛り付けるのを楽しみにしている入居者もいる ○月に1回、勉強会の開催 ○歯科往診にて希望者は口腔ケア、治療を行っている ○担当者会議、モニタリングにて3ヶ月に1回栄養ケアマネジメントを見直している ○毎食後の口腔ケアにて口腔内の清潔を維持している ○創立記念日には赤飯・鯛などを提供している、施設で植えて育てた芋を入居者と収穫しおやつで食べてもらっている ○月1回献立を業者と話し合い決めている その時に嗜好調査、残菜調査を元に施設独自の献立になるようにしている （評価者のコメント・課題） a～g ハイタンクや喫茶・抹茶会などの楽しめ、ロボットの炊飯や汁の盛り付けなどよく仕組みの活用がからみ、食の充実が感じられました。栄養マネジメントもよく機能していることが記録で確認できました。食事の工夫は行き届いていると思います。口腔ケアもその重要性の意識も、十分にされていると思います。	外部評価 4
---	---------------

⑫入浴の支援は適切ですか	a. 入浴時のプライバシーに配慮していますか b. 利用者の希望に合わせ、くつろいだ入浴ができるよう支援していますか	自己評価 3
<p>評点の理由及びコメント</p> <p>(自己評価での強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入居者同士お互い服を脱いだ姿を見ないように一人ずつ援助している ○同性介助の希望がある場合は対応している ○湯の温度の好みを把握し、個別対応している ○入浴剤の希望がある場合は個別に使用している <p>(評価者のコメント・課題)</p> <p>a~b</p> <p>プライバシーへの配慮や利用者の希望の尊重など、よく考えられています。夜間入浴の希望が無いとのことでしたが、本当にそうなのか、施設だからとあきらめている方が居ないのか、週2回の入浴頻度も含めもう一度検討をしてみてもと思います。特殊浴槽での入浴が極めて少ないとのこと、個浴で対応の意識があり、くつろいだ入浴を提供できていると思います。</p>		外部評価 3

⑬排泄の支援は適切ですか	a. 排泄時の不安や恥辱心等に配慮していますか b. 利用者の排泄状況を把握し、一人ひとりに応じた援助を行っていますか	自己評価 3
<p>評点の理由及びコメント</p> <p>(自己評価での強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的に扉の閉まる居室トイレを使用している ○PTトイレを使用する場合はパーテーションの使用を考慮している ○排泄チェック表を用いて細かくチェックし、24Hシートに反映している ○同性介助の希望がある場合は対応している <p>(評価者のコメント・課題)</p> <p>a~d</p> <p>排泄時の不安や羞恥心に配慮は感じられます。ユニット毎に1~2人の布パンツにパットを使用している利用者があると聞き取りましたが、チェック表を用いて排泄パターンの把握をされていることから、おむつはずしの意識は現場スタッフの中に認識できていると思います。利用者が気持ちよく排泄ができますよう、ますますの取り組みを期待します。</p>		外部評価 3

⑭健康保持への支援は適切ですか	a. 利用者の意向に配慮して、寝たきり予防・離床に向けた取り組みを行っていますか b. 利用者が必要に応じて、機能回復などに向けた援助を受けることができますか c. 利用者の体調の変化に速やかに対応する体制ができていますか	自己評価 4
<p>評点の理由及びコメント</p> <p>(自己評価での強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的に全入居者について離床時間をとっている ○機能訓練指導員による個別ROM訓練、生活リハに関する相談・指導を1ヶ月予定を組んで行っている ○回診時に、看護職と介護職が付き、体調と日頃の様子を円滑に報告できるようにしている ○記録を一元化しており、介護記録で各職種の情報共有できる ○緊急時の対応をマニュアル化しており、それに則り緊急時デモンストレーションを1~2ヶ月に一回行っている ○夜間オンコール基準の作成・活用 ○朝礼時の入居者の体調報告、夜勤者全体の申し送りを実施し、体調不良者の確認を行っている <p>(評価者のコメント・課題)</p> <p>全入居者に離床時間をとられているとのことだが、離床してどのような時間を過ごしてもらうか、工夫が求められると思います。機能回復に向けた援助は、機能訓練指導員の作業療法士の個別訓練が計画的に出来ていることが記録等により確認できました。</p>		外部評価 4

⑮その他の生活支援は適切ですか	a. 移動機器の利用や移動介助の方法は適切ですか b. 身だしなみについて利用者の意向や嗜好に配慮していますか c. 利用者のニーズに応じて財産管理の支援を行っていますか d. 夜間、利用者に適切な援助を行っていますか	自己評価 3
評点の理由及びコメント (自己評価での強み) ○移動用リフトやスライドボード等導入の検討を行っている。ボディーメカニクスに基づいた移動支援に努めている。 ○24時間シートに生活習慣やこだわりの面を記入し、自宅での生活との連続性を大切にしている。 ○飲酒の習慣等も囑託医師とも連携し提供している。クラブ活動や行事等日常と非日常のバランスに配慮している。 (評価者のコメント・課題) a移動機器の導入の検討中とのことであり、適切な移動介助の取り組みの意識はあると思う。今後に期待したい。 b～d 24時間シートにより、利用者の意向や嗜好・夜間の援助の提供などに適切に対応できていくと思います。とくに夜間の支援に対しては、ぜひとも24時間シートの活用で、事故等のリスクマネジメントは配慮を行いながらも離床センサー、センサーマット等の機器に頼らない夜間の安眠を考えていただければとおもいます。		外部評価 3

⑯個別ケアへの取り組みを行っていますか	a. 個別ケア推進のためのビジョンが職員間で共有されていますか b. 個別ケアを推進するための工夫がありますか c. 地域志向の個別ケアを実践していますか	自己評価 4
評点の理由及びコメント (自己評価での強み) ○施設内外研修の実施・参加(ユニットケア・24Hシート) ○ユニットケア(個別ケアに沿った)各ユニットの年間目標 ○個別カンファレンスの実施 ○自宅に帰る・外食する・買い物に行くなどの援助を個別に実施 ○地域行事に参加 (評価者のコメント・課題) 個別ケアのための数々の工夫をされてきていると思います。ユニットの年間目標やビジョンも会議などで共有をされているようです。個別援助には、各職種、家族、利用者を取り巻く周りの皆の力が必要と思いますし、これからも工夫を重ねられることを期待します。		外部評価 4

⑰短期入所者への個別対応を行っていますか	a. 短期入所者の生活の継続性に配慮していますか b. 短期入所者の状態把握・個別対応を行っていますか	自己評価 4
評点の理由及びコメント (自己評価での強み) ○自宅生活の延長線として捉え、居室の配置や生活歴等詳細な情報収集、24時間シートを作成している。 ○日祝日、夕食後等の送迎体制を確保している。 (評価者のコメント・課題) a～b 24時間シートで情報を得て個別ケアに生かしている。ますます充実したアセスメントとなるように、個々の利用者の情報が、入居ユニットの職員に共有できるようにしていただきたい。 ショートが利用しやすい送迎体制を採られていて、評価できます。		外部評価 3

⑱認知症のある利用者に対し、適切なケアを行っていますか	a. 認知症のある利用者に対する日常生活の支援は適切ですか b. 認知症のある利用者に対する医療的な対応は適切ですか	自己評価 3
評点の理由及びコメント （自己評価での強み） ○入居前に24Hシートを通じて、生活歴の確認。入居後も家族より情報収集している ○行動の制限をしないよう各職種間・各ユニット間で連携をとっている ○嘱託医と連携をとり、必要時、専門医への受診を行っている （評価者のコメント・課題） 自己評価で挙げられているように、認知症のある利用者に対する支援に努力されています。行動の制限をしないため周囲の協力や、ユニットの勤務シフトの変更などの工夫され、支援を考えられていて評価できると思います。 24時間シートのみでなく、認知症の利用者に対するアセスメントを深められると、現れる症状の分析や理解と対応ができ易くなるのではと思います。認知症のある利用者の不安の理解のために、ぜひお願いをしたいと思います。		外部評価 3

⑲終末期のケア体制が整っていますか	a. 終末期の対応について本人の意向が尊重されていますか b. 利用者・家族等への終末期の精神的ケアに配慮を行っていますか c. 終末期のケアに必要な職員体制が整っていますか	自己評価 4
評点の理由及びコメント （自己評価での強み） ○入居時から終末期にかけて必要時（体調が変化したとき）嘱託医・看護職・ケアマネなどから状況の説明、終末期に関する意向確認を行っている。定期的なカンファレンスの実施（基本的に週1回程度） ○嘱託医の終末期ケアに関する理解がある ○施設内研修の実施 ○業務カンファレンス内で各部門間での話し合いができる。 ○ユニット会議内で援助の検討を行っている （評価者のコメント・課題） 利用者・家族の意向の確認から看取りに向けて、カンファレンス、研修など体制を整備されて実践が成されています。家族と一緒に見送ることが出来ているようにも思います。看取り後の振り返りのカンファレンスなどで、現場の職員の心のケアにも一層考慮していただければとおもいます。		外部評価 4

⑳ユニット型特養としての特色がありますか	a. ユニットでの居心地を良くするための工夫はありますか b. ユニット内での馴染みの関係を深めるための工夫や努力はありますか	自己評価 3
評点の理由及びコメント （自己評価での強み） ○DR内で、食事の場とくつろぐ場を分けている（目的に応じた椅子の使用） ○職員が介入し、入居者同士のコミュニケーションの橋渡しをしている ○入居判定時に、ユニットの入居者同士の人間関係も配慮して居室を決定している ○「暮らしの継続」をテーマに各ユニットで自由にしつらえを行うことができる環境にある （評価者のコメント・課題） ユニット内でのくつろぎの場所のしつらえや、ユニットの利用者の個性が表現でき、他ユニットとの区別ができ空気感の違いを表現できたらとおもいます。現場のアイデアでどんどん個性的にしていって下さることを期待します。 馴染みの関係を作り出すため、ユニット固定などの職員配置にも工夫が必要と思いますが、ハード面の問題もあり、大変だと推察します。利用者間の関係性に気を配っておられ、利用者同士がコミュニケーションを円滑にして居心地の良い休まる空間を作ろうとしている点は評価できるとおもいます。		外部評価 3